

後藤 敏彦 氏

サステナビリティ日本フォーラム代表理事
環境監査研究会代表幹事



CSRを「ステークホルダーの期待を事業活動に組み込み、本業で果たす」と位置付けられています。筆者はCSRを「企業の社会的信頼度」と訳していますが、信頼度はステークホルダーの内心の問題で、期待を果たしてこそ信頼度が増します。多くの企業ではコンプライアンスに偏り、結果的に行動規範、倫理の強化で暗くなりがちです。たいへん適切な位置付けをされていると敬意を表します。生活者アンケート調査ではコンプライアンス・企業倫理の満足度が少し低めですが、締め付け強化は避けるべきです。倫理や行動規範は「誇り」のベースであり、生き生きわくわく働く職場風土と部門間の風通しの良さがあるのはじめて社会の期待に応えることができると考えます。社員とのダイアログは大変良いと思いますし、ある調査では若手からは経営トップとのダイアログが最も期待されているので、会長による社員とのダイレクトミーティングはぜひ継続してください。

掲げられた5つの特集記事とCSR重要課題が微妙に違っているのは少し気にかかります。報告書は網羅性よりも重要性が重視されだしており、編集方針は良いのですが、どのように重要課題や特集課題を選んだかのプロセスの説明があるともっと良いと思います。CSRレポートになり情報量が増えますので数値化やウェブとの併用についても一段上の工夫を期待します。

環境については実に多彩な取り組みをされており、敬意を表します。ただ、IPCC第4次レポート、気候変動枠組条約バリ会議でのバリ行動計画の採択などにより、世界の気候変動への認識は2007年に大きく変わりました。

G8のいう「2050年に世界でGHG(温暖化効果ガス)半減」のためには先進国では80~90%削減が必要です。道路はすべての水脈を横切りますので小水力・マイクロ水力、また風力適地での風力発電、南面土手での太陽光発電などのポテンシャルは高いと思います。筆者が5年間務めた国交省交通政策審議会環境部会では、高速道路上にレールを敷設するアイデアなども話されていました。また、道路はすべての生態系を断ち切りますので、切らないで「つなぐ」、一段上の創意工夫も期待したい。2010年には生物多様性条約のCOP10が名古屋で開かれ、テーマの一つは民間の取り組みのようです。つまるところ2050年をにらんでの革新的なビジョンを期待したいところです。2050年は今年の大卒新人の定年(65才)にあたるので、職業生活を通じての目標となるものが掲げられることはモチベーションの向上、ひいては企業価値を高めるための有力な施策にもなると思われます。

途上国などへの海外展開も考えられています。バリ行動計画は南北問題解決宣言でもあり、海外への技術支援などはますます重要になります。しかし、事業としてペイする支援は容易ではなく、人脈その他への先行投資が必要で、その意味で戦略的フィランソピーを語らずして実行されているアフリカなどは適切と思いました。また、支援技術などは日本国仕様が最適、最優秀かは謙虚に見直す必要があると考えます。

>>> 第三者意見をうけて

経営企画本部 経営企画部 部長

芝村 善治



この「CSRレポート」は、過去2年間発行した環境レポートに続き、社会的・経済的側面も加え、NEXCO西日本グループとしては初めて発行するレポートです。編集にあたり、高速道路を安全・安心で快適にご利用いただくための基本的な活動はもとより、環境保全や事業の透明性向上への取り組みなど、インフラ企業として生活者の関心に応える内容を心がけました。

後藤先生には貴重なご意見をいただき感謝申し上げます。ご意見を受けて、生き生きとした職場風土の醸成に向けて社内の風通しやコミュニケーションの活性化に、よりいっ

そう取り組んでまいります。また、環境はCSRの最重要課題の一つとらえ、再生可能エネルギーの活用、生物多様性への取り組みなど、さらなる充実にも努めてまいります。レポートの構成についてもより分かりやすく工夫してまいります。

CSRはグループ社員の一人ひとりが、ステークホルダーとしっかりコミュニケーションをとって事業活動のあり方をより良くしていくことが重要と考えております。より良き企業市民を目指して引き続き努力してまいります。

報告範囲

■報告対象組織

西日本高速道路株式会社(以下「NEXCO西日本」)およびグループ会社を報告対象としています。ただし、環境パフォーマンスデータの集計範囲は、NEXCO西日本および西日本高速道路サービスホールディングス(株)を対象とします。また、一部NEXCO西日本に限定した記述となっている箇所があります。

■報告対象期間

2007年4月1日~2008年3月31日
(一部2008年4月1日以降の内容も含みます)

■発行日

2008年12月発行

■参考にしたガイドライン

環境省「環境報告ガイドライン(2007年版)」
GRI(Global Reporting Initiative)
「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン第3版」

■お問い合わせ先

西日本高速道路株式会社 本社 CSR推進室
TEL(06)6344-4000(代表)
(受付時間 9時~18時 土日祝を除く)
FAX(06)6344-7183
E-mail:<http://www.w-nexco.co.jp>
(NEXCO西日本トップページ)
メールでのお問い合わせは、
上記ホームページ「お問い合わせ」からお願い致します。

免責事項

本報告書には「西日本高速道路株式会社とその連結子会社」(NEXCO西日本グループ)の将来に関する予測・予想・計画なども記載しています。これらは、記述した時点で入手した情報に基づいた仮定ないし判断であり、不確実性が含まれています。従って、従来の事業活動の結果や将来に惹起する事象が本冊子に記載した予測・予想・計画とは異なったものとなる可能性があります。